

スプリンクル 施工・取扱説明書

対象製品番
G215S○／G15AS○／G15TS○

ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、
正しくご使用下さい。

- お客様へ
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
読める所に必ず保管して下さい。
- 工事店様へ
施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

施工について

施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
- ⚠ 「注意下さい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守って下さい。）
- 🚫 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
- 🔧 「分解してはいけません！」
- 🚫 「指示した場所に触れてはいけません！」
- ❗ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

- 🚫 修理技術者以外の方は、水栓柱本体内部を分解しないで下さい。
故障や水漏れの原因になります。
- 🚫 凍結が予想される地域では必ず水抜き栓を設置して下さい。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ❗ 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。浅いと凍結による管破損などの可能性があります。
- ❗ 散水用です。
飲用などの用途には使用できません。

施工について

適切な使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧（流動時）	最高使用水圧（静止時）
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧して下さい。

〔水質・用途について〕

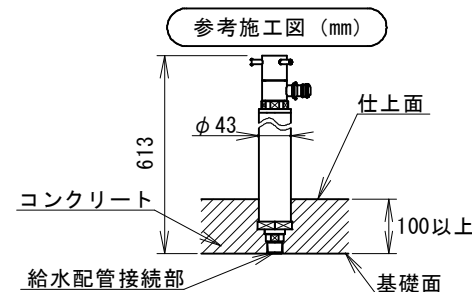
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	散水用

施工について

施工手順

1 設置場所の確認

給水配管の位置を確認する。

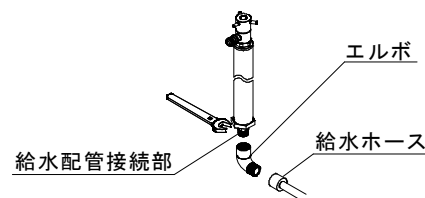


⚠注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- P C板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）がございます。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

2 水栓柱の取付け

水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



⚠注意

- 取付け前に必ず通水し、配管内のゴミを洗い流して下さい。
- 接続の際は、給水配管接続部がまわらないように、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。

3 通水点検

蛇口の施工後に水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。このとき、蛇口を全開し、管内のゴミを取り除く為に、約30～60秒間勢よく通水を行って下さい。水がでない・止まらない一番の原因が『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まる為』ですので、蛇口止水部のゴミをピンセット等を用いて、丁寧に取り除いて下さい。

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

⚠警告

- ❌ 小さいお子様だけのご使用は、避けて下さい。
やけど・けがををするおそれがあります。

⚠注意

- ❌ 製品に強い力や衝撃を与えないで下さい。
故障や水漏れの原因になります。
- ❌ 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないで下さい。
器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。
- ❌ 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないで下さい。
磨耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微少の
水がにじみ出るおそれがあります。
- ❌ 解氷機やアースを水栓に通電しないで下さい。
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のお
それがあります。

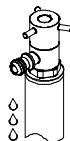
ご使用について

凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出して下さい。
（目安として1分間に牛乳ビン1本程度）
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

少量の水を出すなど



日頃のお手入れ

汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかな布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかな布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。

⚠注意

次のものは使用しないで下さい。変色や傷みのおそれがあります。

- ❌ ●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤 ●ナイロンたわしなど



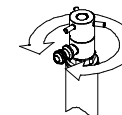
定期的な点検

可動部分の点検

可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、工事店様に修理をご依頼下さい。吐水口の点検については下記を参照下さい。

日頃から、ときどき吐水口を回して下さい。（月1回を目安）

吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。
吐水口が回らなくなった場合は、工事店様に修理をご依頼下さい。

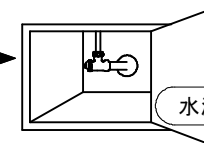


定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認して下さい。（年2回を目安）
定期的に、器具のガタツキがないか確認して下さい。（年2回を目安）
劣化・磨耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

確認



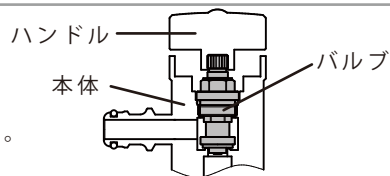
水漏れなし

水漏れを確認した場合は、配管中の元栓を閉めて下さい。

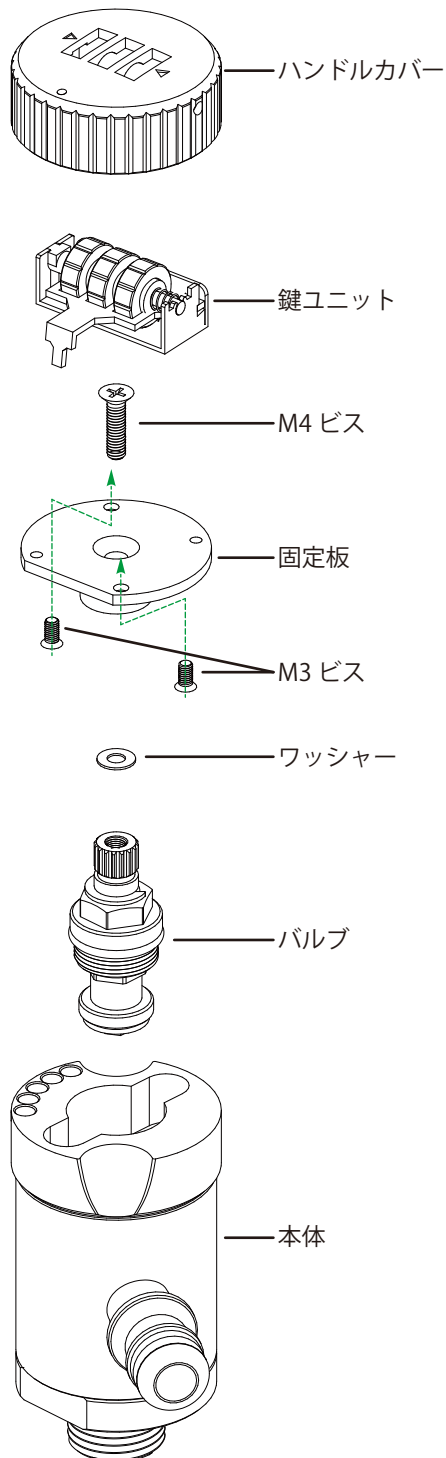


AT 式ホース接続回転水栓 / AT 式スプリンクル バルブ交換マニュアル

バルブは消耗部品です。
水漏れが止まらなくなってしまった場合にはバルブの交換が必要になります。
以下のマニュアルをよく読んで、バルブの交換作業を行ってください。

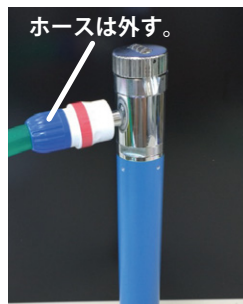


各部の名称

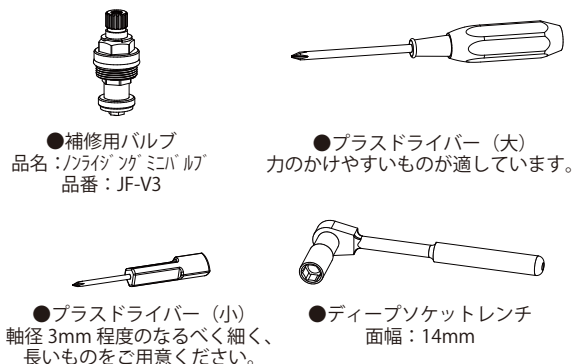


バルブの交換作業の前に

- 止水栓もしくは元栓を閉めてから作業を行ってください。
- ホースが接続されている場合は、取り外してから作業を行ってください。

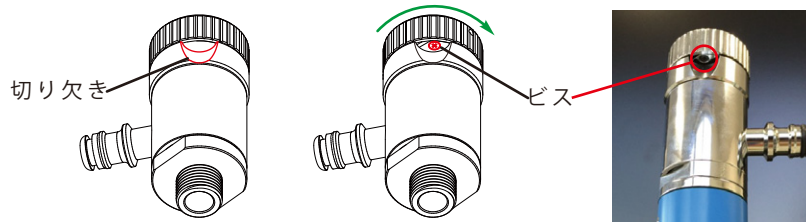


用意するもの

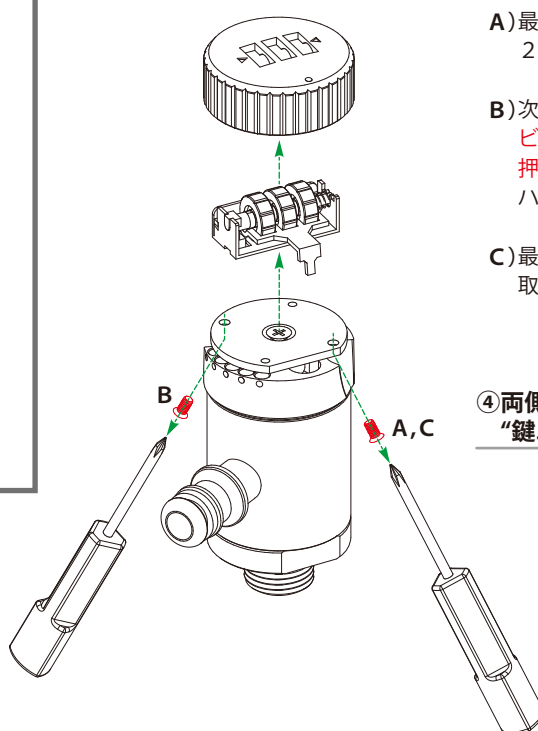


ハンドルの取り外し

- ① ダイヤルをお客様が設定された解錠番号（出荷時は「000」）に合わせます。
- ② 本体の“切り欠き”からビスが現れる位置まで、ハンドルを回します。



- ③ プラスドライバー（小）を挿入し、“M3 ビス”を取り外します。
取り外すビスは2つあります。A～Cの手順に沿ってビスを取り外してください。

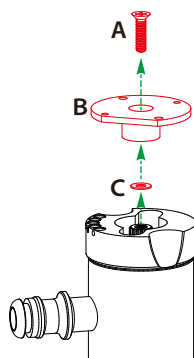


- A) 最初に、片側のビスを
2～3回転ほどゆるめてください。
- B) 次に、反対側のビスを外します。
ビスを上を持ち上げるように、
押えながら回していくと、
ハンドルが浮いていきます。
- C) 最後に、Aでゆるめたビスも
取り外します。

- ④ 両側のビスを取り外すと、“ハンドルカバー”
“鍵ユニット”が取り外せます。

バルブの交換

- ⑤プラスドライバー（大）を使用し、“固定板”、“M4 ビス”、“ワッシャー” を取り外します。
A～Cの手順に沿ってビスを取り外してください。

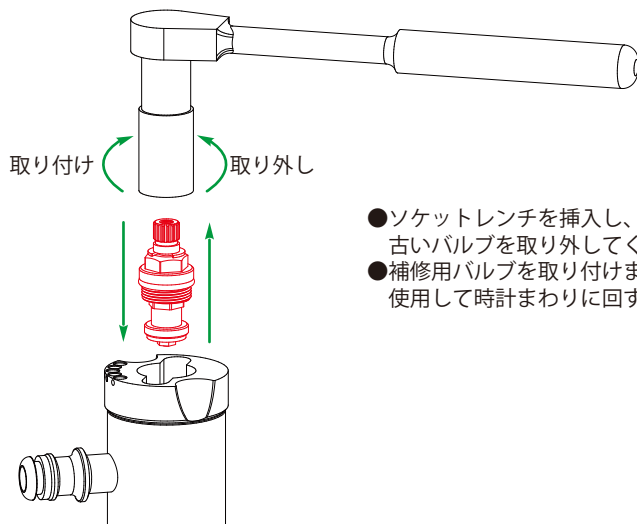


- A) “M4” ビスを取り外します。
※出荷時、ビスは固く締まっております。ビスのプラス穴が潰れないよう注意してください。
- B) “固定板” を取り外します。
- C) “ワッシャー” も取り外します。
※“固定板” の裏面に固着している場合もあります。注意してください。

ポイント

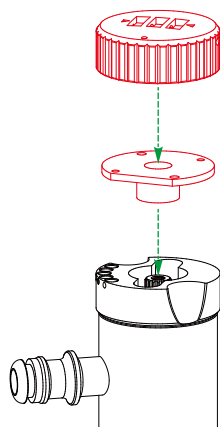
取り外した“ビス”、“ワッシャー” は再度使用しますので、なくさないよう注意してください。

- ⑥バルブを交換します。



- ソケットレンチを挿入し、反時計まわりに回して古いバルブを取り外してください。
- 補修用バルブを取り付けます。同様にソケットレンチを使用して時計まわりに回すと取り付けができます。

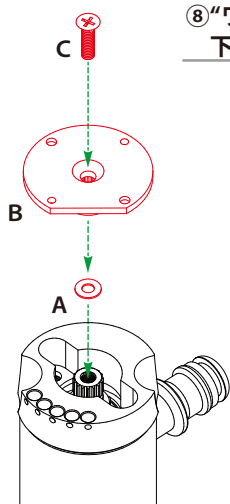
- ⑦バルブを操作し、止水位置に合わせます。



- “固定板”、“ハンドルカバー” を仮置きし、ハンドルを時計まわりに回し、バルブを閉めます。
※強く閉めすぎるとパッキンの経年変化が早まり、弱すぎると止水が不完全になります。目安として、バルブが閉まってから、さらに 30° 程度回した位置が適正です。
- バルブを閉めたあとは、仮置きした“固定板”と“ハンドルカバー” は、一旦取り外しておきます。

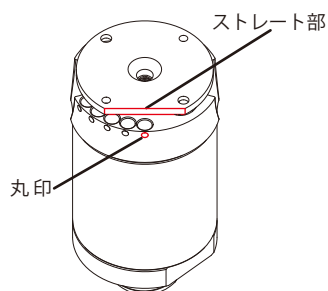
固定板の取り付け

- ⑧“ワッシャー”、“固定板”、“M4 ビス” の順に取り付けます。
下記A～Cの手順に沿って、取り付けてください。



- A) “ワッシャー” をバルブの上に置きます。
- B) “固定板” を設置します。
右図の通りに設置してください。
- C) プラスドライバー（大）を使用し、“M4 ビス” を強く締め付けます。

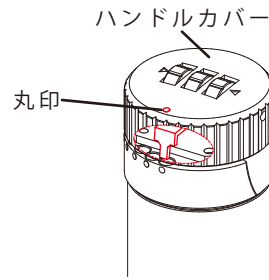
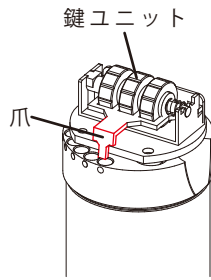
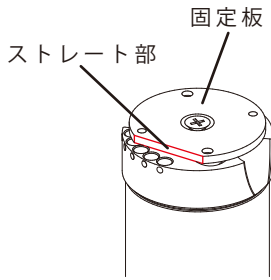
ポイント



図の「丸印」の位置に、“固定板”の「ストレート部」がくるように設置します。

ハンドルの取り付け

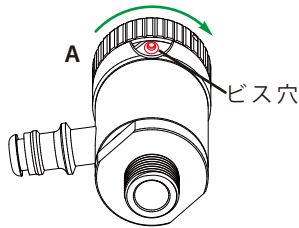
⑨“鍵ユニット”、“ハンドルカバー”の順に設置していきます。



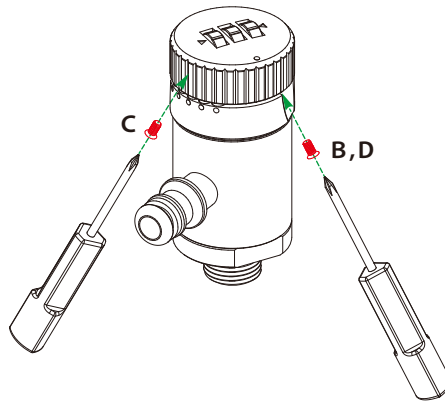
●“固定板”の「ストレート部」と“鍵ユニット”の「爪」の位置を合わせ、“鍵ユニット”を設置します。

●“鍵ユニット”の「爪」の位置と“ハンドルカバー”の「丸印」の位置を合わせ、“ハンドルカバー”をかぶせます。

⑩ハンドルをビスで固定します。下記のA～Dの手順に沿ってビスを取り付けてください。



A) 本体の“切り欠き”からビス穴が現れる位置まで、ハンドルを回します。



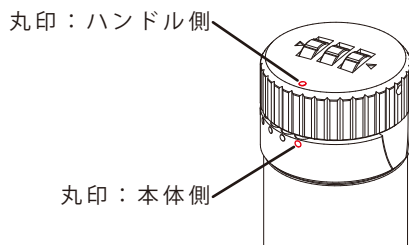
B) 片側のビスを取り付けます。

ビスを軽く押さえ、ハンドルを浮かせるようにしてドライバーを回していくと、締付けやすいです。反対側も同様にハンドルを浮かせるため、ここでは2～3回転ほどゆるめに締めます。

C) 反対側も手順Bと同様にビスを取り付けていきます。しっかりと締めてください。

D) 手順Bで2～3回転ほど緩めておいたビスも、しっかりと締めてください。

⑪以上でバルブの交換は終了です。元栓を開放して、ハンドルと本体の丸印を合わせた位置でしっかりと止水ができ、ロックがかけられることを確認してください。



ポイント

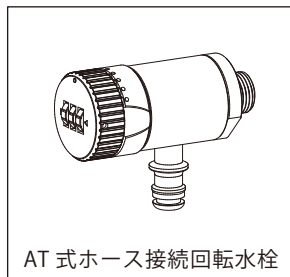
※「止水位置がズれる」「丸印同士の位置が合わない」といった場合は、⑧「固定板の取り付け」から再度やり直してください。

ダイヤルロックハンドル 取扱説明書

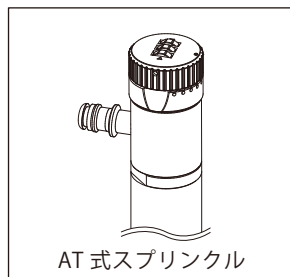
この度は「盗水防止水栓」シリーズをご購入いただきまして誠にありがとうございます。



ミズロック横水栓 151 型



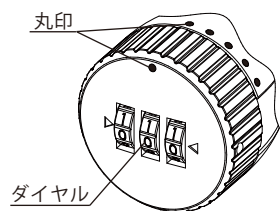
AT 式ホース接続回転水栓



AT 式スプリンクル

本製品は、水栓の利用者を限定する「共用栓」としての便利さと防犯向上を意図した商品ですが、盗水防止に絶対的な錠ではございません。事故、犯罪、トラブル等が発生いたしましても当社は一切の補償、弁償等を行いません。ご理解頂きますようお願いいたします。

ハンドル操作方法



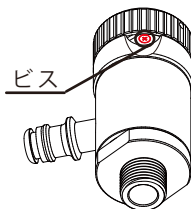
- 本製品には、ハンドルと水栓本体それぞれに、ロック位置を示す「丸印」が刻印されています。互いの「丸印」の位置を合わせることで、ダイヤルを回すことができます。
- ダイヤルを暗証番号に合わせると、ハンドルを回すことができます。暗証番号以外の場合は、ハンドルを回すことができません。
- 経年による止水位置の変化に対応するため、本体の「丸印」を5ヶ所設けています。

注 意

- 止水時は、必ず暗証番号以外の番号に変えてください。
暗証番号のまま止水していると第三者に番号が分かり、不正解錠の原因や、いたずらで暗証番号を変更され解錠できなくなる恐れがあります。
- 暗証番号は出荷時「000」で設定されております。
商品到着後、「暗証番号設定方法」の手順に従って任意の暗証番号を設定してください。
また、設定した暗証番号はお客様の責任において忘れないよう管理してください。
- ダイヤルは定期的（週に一度を目安）に回転させてください。
雨水などに含まれる成分が固着し、ダイヤルが回転しづらくなる場合があります。
市販の潤滑油を注入するのも効果的です。
- 暗証番号忘れによって解錠できない場合等の
解錠に要する暗証番号の問い合わせにはお答えできません。
- 解錠できなくなった場合は本製品の交換対応（有償）となります。

定期的な点検

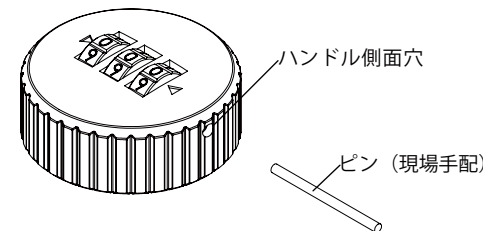
- 定期的に、ハンドルのガタつきがないか確認してください。（月1回を目安）
ハンドルがガタつく場合は、ハンドル裏面のビスを増締めしてください。
（使用ビス：サイズM3 皿小ねじ 長さ6mm）
ハンドルのガタつきがありますと、うまく施錠できない可能性があります。



暗証番号設定方法

※暗証番号の設定は必ず施工前に行ってください。

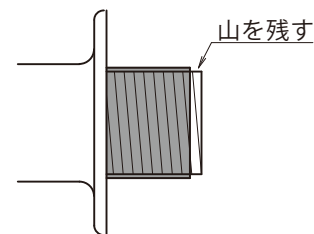
輸送トラブル等によりダイヤル部が破損し暗証番号の設定ができなくなっている場合、施工前であれば交換が可能です。



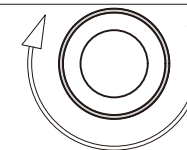
- ①現在の暗証番号に合わせます。（出荷時は「000」）
- ②φ2mm以下のピン(安全ピン等)を用意し、ハンドル側面の穴に10mm程挿し込んでください。
- ③ピンを挿し込んだまま、ダイヤルを回して暗証番号を合わせます。
ピンを抜くと暗証番号の設定は完了です。
- ④設定した暗証番号は、忘れないよう下欄に記載するなどし、大切に保管してください。

暗証番号記録欄

水栓取付け方法



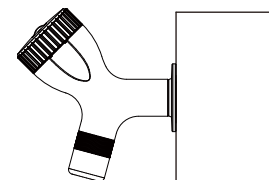
ねじを正面から見て、時計周りにきつく巻く。



- 水栓のねじにシールテープを巻きつけます。テープは、管端面からはみ出さないよう山を1～2山残した状態で、テープがたるまないよう巻きつけます。

- 管端からはみ出して巻きつけるとテープが切れて管内のゴミとなり、水漏れの原因となります。

施工の注意



各部から水漏れが無いかどうか、確認をお願いします。

- 施工時には、切粉、シールテープの切れ端などの異物を配管内に混入させないようお願いします。
- 取付けねじは必要以上に回すと破損する恐れがあります。
- 施工後には、必ず『フラッシング』（配管内のゴミを流しだすために、約30～60秒程度の間、勢い良く水を流す処理）を行ってください。
- 海沿いの地域等では空気中の塩分に反応しステンレス製部品が腐食する可能性があります。市販のサビ防止材をダイヤル錠部に注入するなど予防をしていただきますようお願いします。
- AT式スプリンクルにて、ハンドルを緩めた状態のまま施工するとハンドルの向きが施工後に正面を向かない場合があります。正面の位置で設置したい場合は、ハンドルを閉めた状態で施工してください。

